

保証会社のニーズ増へ備え万全



ジェイリース CEO 代表取締役社長

中島 拓氏

- ①「商売心得帖」(松下幸之助)
- ②ゴルフの練習と対戦型将棋ゲームをする
- ③大銀ドームと近所のゴルフ練習場

社会構造の変化で大きな転換期を迎えている不動産賃貸ビジネス。ジェイリースは保証人に代わる機関保証というニーズを喚起し、急成長を遂げてきた。

「住まいの新たな『インフラ』に」と会社を立ち上げてから12年。2人の社員と創業した会社は、現在、大分と東京に本社を構え全国18支店、社員数330人の企業へと進化した。「商品は『信用』です。創業以来、一貫してジェイリースのファンづくりを目指してきました」と振り返る。信頼の積み重ねが、今の成長を支えている。

大分本社を大分市都町に移転して1年。市内3カ所で行っていた業務を集約し、相乗効果とコストカットを実現した。高まる需要に応え、今年は神奈川、

埼玉に支店を開設し、全国20支店を新システムでつなげるほか、東京本社を増床して関東エリアの強化を図る。

民法の一部改正では、保証人の制限・保護として保証限度額を設けることが規定された。今後は貸し手のリスク回避のため家賃保証会社の利用増が見込まれ「対応を急いでいます」と、システム開発、人材の確保育成に拍車を掛ける。

年間100回は飛行機に乗るという中島社長のお気に入りには、機上の通信を可能にした機内WiFiシステム。

「ロングフライトも多いので仕事の効率が上がりました。いつも仕事に追われている気がしますけど」と笑う。私生活では「ゴルフを8年ぶりに再開しました。

早く100を切りたいです」と目を細める。

同社は昨年、雇用のハードルが高いとされていた視覚障がい者2人をヘルスキーパーとして採用した。また、車いすバスケットボールの公式スポンサーを務めるなど、障がい者の社会参画へ向けた積極的な取り組みを続けている。大分トリニータのユニフォームスポンサーも継続、自らスタンドで声援を送る。「大分がジェイリースの原点。大分から本社を移すことはありません。雇用と納税、地域貢献で恩返ししたい」。公私にわたり大分への思いは揺るぎない。

今年も、ジェイリースの動きから目が離せない。



社員一丸で家賃保証のニーズに応える



ジェイリース株式会社

ジェイリース株式会社
大分市都町1-3-19大分中央ビル7階
TEL (097) 534-2277
<http://www.j-lease.jp>